



会津農林事務所農業振興普及部だより VOL. 251 (平成25年6月20日発行)

編集・発行 ■ 会津農林事務所農業振興普及部
住 所 ■ 〒965-8501
会津若松市追手町7-5

電話 ■ 農業振興課 0242-29-5303
地域農業推進課 29-5306
経営支援課 29-5307
有機農業担当 29-5317

ホームページ ■ 会津農林事務所農業振興普及部で検索！

豊かなむらづくり顕彰事業の受賞団体を紹介します

平成25年3月26日、福島市の杉妻会館で平成24年度豊かなむらづくり顕彰事業表彰式が行われました。管内からは、「JAあいづファーマーズマーケット『旬菜の会』」が受賞されました。『旬菜の会』は、平成16年に農産物直売所への生産・出荷を担う組織として設立されました。各会員、基幹作物3品目+補完作物3品目+新規チャレンジ作物3品目の『9品目生産』を目標に、多品目生産を推進し、会津伝統野菜や雪下野菜などにも取り組むことで、年間安定した出荷と消費者を飽きさせない販売につながっています。また、学校給食への食材提供を始めとして地産地消活動や直売所における消費者との交流を大切にし、様々なイベントを開催する中で食農教育にも積極的に取り組み、地域の活性化に大きく貢献しています。



JA あいづファーマーズマーケット「旬菜の会」
及び関係者の皆さん

会津若松市菜の花観賞会開催される



菜の花畑空中撮影写真

F発電機利用のライトアップが行われました。

当日は好天に恵まれ、入場者数は約150名で、市内外の銘品店で販売されている笹山産ナタネ油も販売され、好評を博しました。



新島八重マスコットキャラクター
ー「八重たん」

今年で4回目を迎える湊町笹山原の菜の花鑑賞会（菜の花フェスティバル実行委員会主催）は、5月18日（土）に盛大に開催されました。

菜の花（ナタネ）の栽培は、平成21年に循環型社会形成を目指して、耕作放棄地の再生を開始したのが始まりです。

観賞会は3つのイベントで構成され、第1部は（独）東北農業研究センター福島拠点の全面協力による簡易空撮気球（ひばりは見た！）による空中撮影会、第2部は喜多方市在住の声楽家、戸田美樹子氏のミニコンサート、第3部はBD



戸田美樹子氏によるミニコンサートの様子

園芸作物の緊急時環境放射線モニタリングについて

福島県では、出荷・販売する農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。園芸作物については昨年までの検査状況を踏まえ、「検査必須品目」（下表）を選定し、これらの野菜や果物を中心に検査を行っています。

野菜や果物を出荷・販売する際は、モニタリング検査の実施状況等を農業振興普及部、市町村、JA及び直売所等に確認してください。

1 必須品目（主要品目・摂取量の多い品目等）

野菜				果樹	
★ アスパラガス	★ サヤエンドウ	★ トウモロコシ	★ ブロッコリー	★ イチジク	◇ ブルーベリー
★ イチゴ	◇ サンショウ	★ トマト	★ ホウレンソウ	◇ ウメ	★ 西洋ナシ
◇ エゴマ(実)	◇ シシ(実)	★ ナス	★ ミニトマト	◇ オウトウ	★ 日本ナシ
◇ カボチャ	◇ ジネンジョ	ニンジン	◇ ミョウガ	◇ カボス	★ ブドウ
キャベツ	★ シュンギク	★ ニラ	◇ モミジガサ	★ カキ	◇ ミカン
★ キュウリ	★ スナップエンドウ	★ ネギ	★ モロヘイヤ	◇ キウイフルーツ	★ モモ
◇ ギョウジャニンニク	◇ セリ	ハクサイ	◇ レンコン	◇ ギンナン	◇ ユズ
★ グリーンピース	★ ダイコン	★ バレイショ	◇ ワサビ(根)	◇ クリ	★ リンゴ
◇ コマツナ	★ タマネギ	★ ピーマン	★ 花ワサビ	◇ スダチ	
サツマイモ	★ タラノメ	◇ フキ	★ 葉ネギ	★ スモモ	
サトイモ	★ ツルムラサキ	◇ フキノトウ	◇ 葉ワサビ		
★ サヤインゲン					

※★の品目は野菜指定産地、特定野菜、県単青果物価格補償対象品目等本県の主力品目。

※◇の品目はH24年度のモニタリングで放射性セシウムが50Bq/kg超検出された品目。

※空欄の品目は国民健康・栄養調査の摂取量上位品目。（原千力災害対策本部作成「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に記載がある品目。

なお、★、◇と空欄いずれも該当する品目の場合は、★を記載している。

ふくしまの恵み安全対策協議会 <http://fukumegu.org/ok/mieru/>
 福島県の安心・安全なおいしい食べ物をいっぱい食べましょう!

米の全量・全袋検査について

平成24年産米の放射性物質全量全袋検査は、会津農林事務所管内において315万袋の検査を終了しました。御協力ありがとうございました。

まだ未検査の自家用飯米等については、今後も検査を継続していきますので、事前に検査場と連絡をとって検査を受けてください。平成24年産米については、旧町村ごとに指定された数量のモニタリング検査を完了しないと、出荷できませんでしたが、平成25年産米については、国との協議により、全量全袋検査により基準値以下であれば、すぐに出荷することができることとなりました。



平成25年度米の全量全袋検査の実施状況

平成25年産米についても、昨年同様に全量全袋の検査を予定していますので、御協力をお願いします。

農作業安全について

田植え作業も終了し、農作業も一段落といったところですが、野菜や花き等については、これから作業のピークを迎えます。野菜や花き等についてもトラクター耕耘や草刈り作業等、危険度の高い作業が多くありますので、作業機械の点検、安全操作等に心がけ、農作業事故ゼロを目指しましょう!

トラクター等の表示義務について

トラクターなど、スピードの遅い農業機械を運転中に一般車両に追突される事故が多発していることから、平成25年4月以降販売されるトラクターに、低速車マークの設置が義務付けられました。今後、夕方以降に道路を走行する機会も増えてきますので、現在所有しているトラクターやコンバイン等についても、低速車マークを確実に取り付けましょう。

森林等に火入れを行うには、消防署と市町村長の許可が必要です。山火事を防止しましょう!

鳥獣害対策～農作業、山菜採取中のクマにご注意！～

平成25年は4月下旬から山菜採取中にクマに襲われる事件が多発しています。

・ 農作業中に身を守るには ・

○山菜採取や山際、耕作放棄地近くでの農作業時には笛や鈴、ラジオなどをならして自分の存在をクマに知らせる。

○早朝の農作業時は音の鳴るものを身につける。

・ 畑にクマを寄せ付けないためには ・

○残飯、廃棄農産物は畑周辺に捨てない。

○耕作放棄地などは刈り払いを行い、クマの隠れ場所を無くす。



農薬適正使用について

昨年度、会津農林事務所管内で生産されたキュウリで、農薬の残留超過事例が発生しました。また、誤使用の事例や疑義資料の使用が疑われる案件も見られる等、従来からの安全対策が放射性物質の問題に埋もれているような状況となっています。

会津産農産物の安全性は放射性物質対策と併せて、農薬の適正管理を確実に実施することで成り立ちます。今後農薬を使用する際には、指導機関で発行している資料や防除暦等はもちろん、袋やピンのラベルに記載されている「希釈濃度」「使用時期」「使用方法」「適用作物」等について再度確認しましょう。

また、周囲に住宅地のあるほ場や、住民の生活道路に面しているほ場で農薬を使用する際には、出来るだけ飛散しない方法での散布に心がけるとともに、看板等による周知についても実施しましょう。

混用も注意

情報がない組み合わせでの現地混用や、特に有機リン剤同士の混用は絶対にやめましょう。

エコファーマーの取組みについて

エコファーマーの指針が一部改正されました。

穀類ではラッカセイ、野菜ではトマト(抑制栽培)、ニガウリ(ゴーヤ)、ニンニク、なばな類、果樹ではブルーベリー、ネクタリン、新規に飼料作物として飼料用米、稲ホールクロップサイレージが追加されました。今年度からの取り組みが可能となります。

福島県独自のエコファーマー、特別栽培・有機農産物のマークができました



福島県は「環境と共生する農業」の更なる推進のため、エコファーマー、特別栽培・有機農産物マークを作成しましたのでご活用ください。

お問い合わせ先 県環境保全農業課 電話:024-521-7342

制度資金の紹介

農業者の皆さまが、経営に必要な資金を円滑に、より有利に借りられるようにさまざまな制度資金が設けられています。現在、利用できる主な制度資金とその用途は以下のとおりです。

【農業近代化資金】

資金用途：畜舎、果樹棚、農機具その他農産物の生産、流通、加工に必要な施設の改良・造成・復旧・取得

貸付利率：1.0%

償還期限：15年以内（うち据置7年以内）

【農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）】

資金用途：農地の取得、農業施設・機械等の取得、家畜・果樹の導入、負債整理

貸付利率：0.45～1.0%

償還期限：25年以内（うち据置10年以内）

【農家経営安定資金（東日本大震災農業経営対策特別資金）】

資金用途：原発事故に伴う出荷制限の指示や出荷自粛、風評被害等により農業収入が減少又は農業支出が増加した農業者等が、営農のため緊急に必要とする運転資金

貸付利率：1.1%以内（農協取扱いにあっては無利子）

償還期限：10年以内（うち据置3年以内）

（利率は平成25年5月20日現在）

農業振興普及部長挨拶

4月に農業振興普及部長として着任いたしました渡邊と申します。よろしくお願いいたします。

はじめての会津地方勤務ですが、会津の「広さ」、「美しさ」そして「豊かさ」を日々実感しております。

また、これまで、野口英世や新島八重をはじめ、「東に名臣あり」として有名な田中玄宰や「ある明治人の記録」でも世に知られた柴五郎など、傑出した人材を多数輩出してきた会津で勤務する緊張感もあります。

さて、平成23年の大震災及び原発事故による放射性物質飛散により、大きな影響を受けた本県農林水産業の再生、復興を迅速に進めるため、県では、「ふくしま農林水産業新生プラン」を策定するとともに、本年を「実行の年」と位置づけております。このような中、ほとんど震災や放射性物質の影響を受けなかった当地方は、安全な農畜産物の生産振興に邁進し、本県農畜産業復興の先駆けとなる大きな期待を担っております。

当部といたしましては、皆様方とともに担い手の育成・確保、農畜産物の一層の生産振興、環境と共生する農業の推進、6次産業化の推進等に鋭意取組む所存でありますので、今後とも、皆様方のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。着任のごあいさつといたします。

平成25年度農業振興普及部の体制

■農業振興普及部の体制は以下のとおりです。
関係機関・団体と連携して、農業者の皆さんを応援します。よろしくお願いいたします。

部長		渡邊 史夫
副部長		阿部 正彦
農業振興課	課長	長谷川 一朗
	主査(キャップ)	大高 佳博
	主査	古田 力
	主査	山内 圭一
	主査	木村 京美
	主査	長谷川 進
	副主査	渡部 有
	主事	板垣 智
	主事	山崎 貴大
	主事	五十嵐 裕子
地域農業推進課	課長	吉田 文弘
	主任主査	緑川 弥寿彦 (野菜特産)
	主査	小島 一良 (作物)
	主査	小森 秀雄 (作物)
	主査	鈴木 浩之 (畜産)
	主査	岡田 徹 (畜産)
経営支援課	課長	星 源昭
	主査(キャップ)	志賀 忠市 (畜産)
	主査	大高 圭申 (果樹)
	主査	佐藤 美季 (花き)
	技師	工藤 夏実 (野菜特産)
	技師	円谷 祐未 (野菜特産)
	技師	渡邊 善仁 (野菜特産)
	技師	岡崎 徹哉 (野菜特産)
有機農業担当 主査(キャップ)		岡崎 徹哉 (野菜特産)